

通し番号	3905
------	------

分類番号	14-6B-22-04
------	-------------

(成果情報名)「カナガワヨーク」とランドレース種系統造成豚との相性検定試験	
<p>[要約] 現在造成しているランドレース種系統豚と交配豚として利用されるカナガワヨークとの組合せの相性を検定するため、両系統の組合せによるF1母豚の生産さらにF1母豚を利用した肉豚の生産検定試験を行い、系統造成の選抜の参考としている。</p> <p>平成14年度は、第4世代豚とカナガワヨークから生産されたF1母豚に生産者の飼養しているデュロック種を交配して生産された肉豚10頭について産肉能力検定試験を実施した結果、一般の肉豚と比較して良好な成績であった。</p> <p>平成10年度から実施してきた相性検定試験結果から、両豚の交配による問題は認められず、両豚の相性は良好であることが確認された。</p>	
(実施機関・部名)神奈川県畜産研究所 畜産工学部	連絡先 046-238-4056

#### [背景・ねらい]

新系統豚の造成にあたり、将来の交配豚として利用予定であるカナガワヨークとの相性を良好に保ち、高品質で低コストな豚肉生産を推進するため、両豚の組合せによるF1母豚の生産さらに肉豚の生産を行う。これによって、相性の好ましくない血統の確認を行い、新系統豚造成の一助とする。

#### [成果の内容・特徴]

##### 1 F1母豚生産検定試験

各交配とも概ね順調な成績であり、第5世代豚とカナガワヨークの交配では、流産があったため分娩腹数は少なかったものの、産子数等の成績は良好であった。F1の生産では、雑種強勢によるF1効果がよく反映された結果である。

産子数・育成率等においても問題はなかった。

##### 2 肉豚生産検定試験

各交配とも概ね良好な成績であったが、産子数において若干低い傾向であった。肉豚生産としては、新系統豚とカナガワヨークの相性は良いと考えられる。

##### 3 肉豚産肉能力検定試験

1日平均増体重、105kg到達日齢は良好に推移し、発育性に優れた肉豚が生産されていた。背腰長は年々短くなる傾向にあるものの、平均脂肪厚は26mm前後、ロース断面積は20cm<sup>2</sup>以上であった。これは、一般の肉豚と比較しても良好な成績であった。

#### [成果の活用面・留意点]

本試験の結果をもとに、両系統豚の利用推進を図る。

[ 具体的データ ]

表1 繁殖成績(F1生産)

	交配雌数	交配雄数	分娩頭数	分娩時期	平均産子数			死産等	離乳頭数			育成率	離乳時 総体重	合計候 補頭数
					合計	雌	雄		合計	雌	雄			
L 2×W	5	3	5	98.12.21~12.6	8.8	4.2	4.6	0.6	8.8	4.2	4.6	100%	-	19
W×L 2	5	1	5	98.12.2~99.2.5	10.8	5.6	5.2	1.4	9.6	5.6	4.0	88.9%	69.6	23
L 3×W	5	3	3	99.11.7~11.12	9.3	5.0	4.3	0.7	7.3	4.7	2.6	78.5%	-	13
W×L 3	7	3	7	2000.1.1~2.21	10.3	-	-	0.6	9.3	4.2	5.1	90.3%	-	29
L4×W	5	3	5	2001.1.2~4.3	11.2	4.0	7.2	2.2	9.6	3.6	6.0	85.7%	50.9	-
L5×W	5	1	2	2001.10.31~11.2	10.5	5.0	5.5	0.0	9.5	5.0	4.5	90.5%	55.9	10

平均産子数合計は、死産等を除いた生産子豚数

表2 繁殖成績(肉豚生産)

	交配雌数	交配雄数	分娩頭数	分娩時期	平均産子数			死産等	離乳頭数			育成率	離乳時 総体重
					合計	雌	雄		合計	雌	雄		
L 2 W×D	10	4	10	99.9.15~11.23	9.0	5.2	3.8	0.3	8.3	4.7	3.6	92%	44.9
W L 2×D	10	4	6	99.11.30~2000.2.8	9.7	5.5	4.2	0.3	8.7	5.2	3.5	89.7%	51.4
L 3 W×D	10	5	10	2000.1.5~2.20	10.4	-	-	-	9.7	-	-	93%	-
W L 3×D	10	4	10	2000.1.20~2.2	9.5	4.8	4.7	0.4	9.2	4.7	4.5	96.8%	-
L 4 W×D	10	6	6	2001.2.7~2.9	9.7	6.3	3.3	0	8.7	5.7	3.0	92.9%	52.2

平均産子数合計は、死産等を除いた生産子豚数

W L 2×Dは、交配頭数のうち1頭は流産

表3 産肉能力検定成績

		105 k g 日齢 一日平均増体重 飼料要求率 出荷体重 枝肉重量 枝肉歩留 八△率 背腰長 平均脂肪厚 ロ-ス断面積 胸腰椎数										
		105 k g 日齢	一日平均増体重	飼料要求率	出荷体重	枝肉重量	枝肉歩留	八△率	背腰長	平均脂肪厚	ロ-ス断面積	胸腰椎数
L 2 . W · D	(10)	169.8	827.6	3.24	110.1	71.9	65.3	28.3	70.1	26.7	23.7	21.3
	(10)	175.8	759.9	3.39	107.7	70.2	65.2	28.9	69.4	24.7	23.9	21.2
	全体(20)	172.9	792.0	3.32	108.8	71.0	65.3	28.6	69.7	25.6	23.8	21.3
L 3 . W · D	(11)	166.2	723.8	3.28	113.5	72.4	63.8	29.3	69.9	27.6	20.5	21.1
	(9)	163.0	733.4	3.16	112.6	72.9	64.8	30.1	69.8	25.7	23.2	20.9
	全体(20)	164.8	728.2	3.23	113.1	72.6	64.2	29.7	69.9	26.8	21.7	21.0
L 4 . W · D	(5)	160.0	864.2	3.12	113.2	73.8	65.2	30.3	66.8	28.4	22.7	21.2
	(5)	161.0	847.2	3.18	109.2	70.2	64.3	31.1	66.2	26.7	22.6	21.0
	全体(10)	160.5	855.7	3.15	111.2	72.0	64.7	30.7	66.5	27.6	22.6	21.1

[ 資料名 ] 平成14年度試験研究成績書(繁殖工学・養豚)

[ 研究課題名 ] かがワ-クとランドレス系統造成豚との相性検定試験

[ 研究期間 ] 平成10~14年度

[ 研究者担当名 ] 小嶋信雄・亀井勝浩・前田高弘・仲沢慶紀